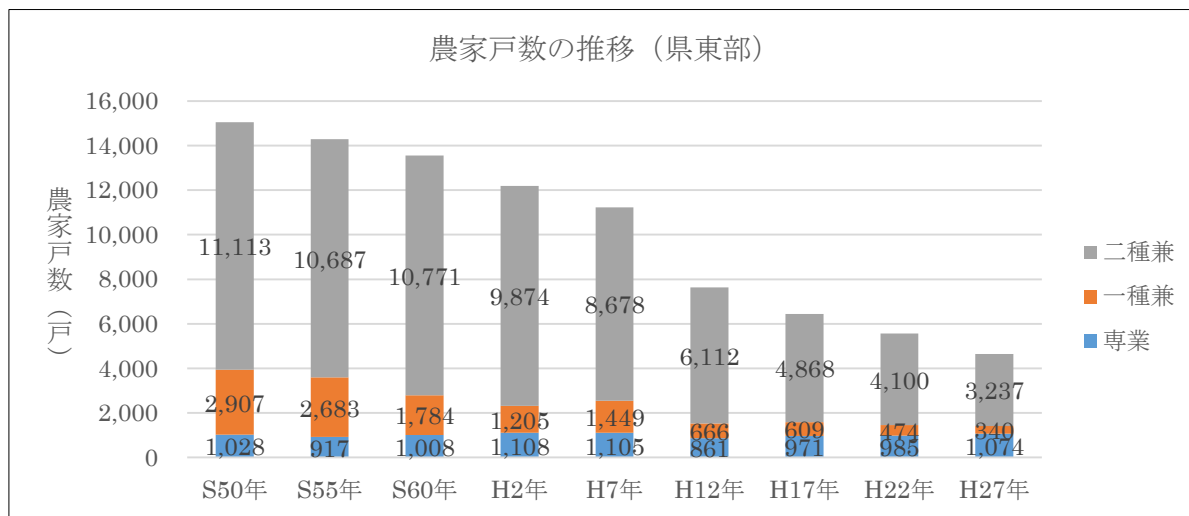


### Ⅲ 農家・農業者の状況

#### 1 農家戸数

鳥取県東部の農家戸数は年々減少しているが、専業農家戸数は近年回復傾向にある。



世界農林業センサス(農業センサス)、鳥取農林水産統計年報

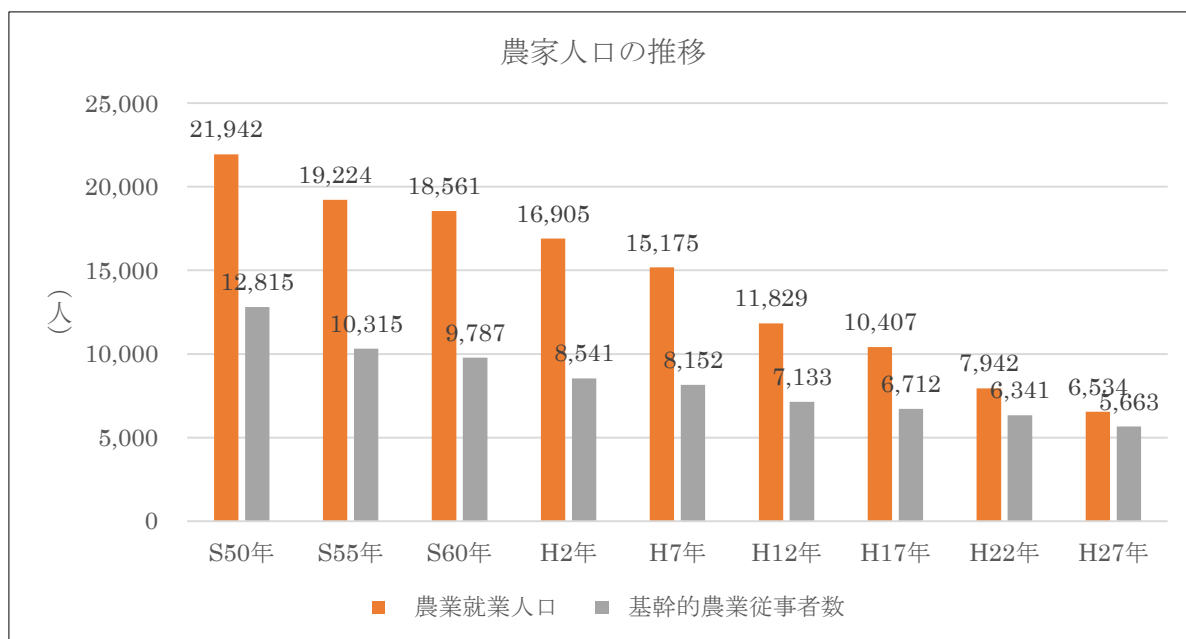
注1) 専業農家：世帯員のうちに、自営農業以外の兼業従事者が一人もいない農家をいう。

第1種兼業農家：農業と兼業とを比べて、農業所得を主としている兼業農家をいう。

第2種兼業農家：農業と兼業とを比べて、農業所得を従としている兼業農家をいう。

#### 2 農業者数

農業就業人口は減少を続けており、平成27年は平成22年と比較して18%減少している。農業就業人口のうち、基幹的農業従事者数は減少率が比較的ゆるやかであり、平成27年は平成22年と比較して11%の減少となっている。



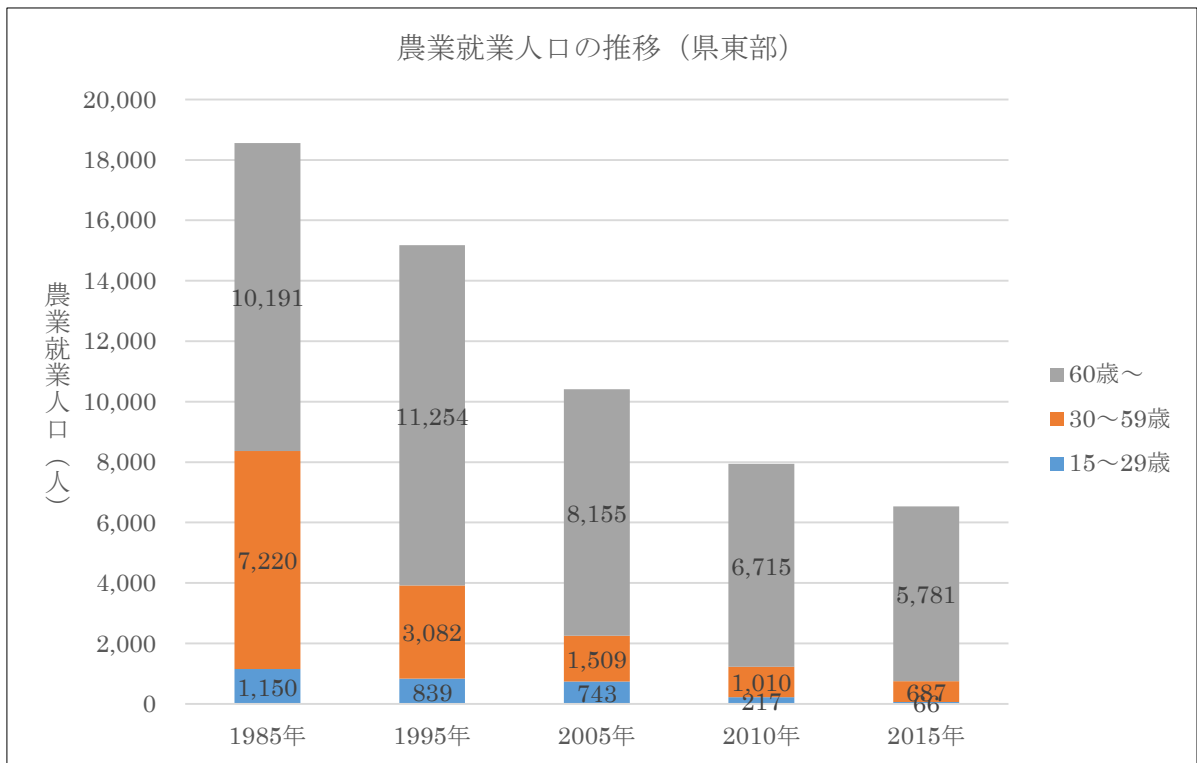
世界農林業センサス(農業センサス)、鳥取農林水産統計年報

注1) 農業就業人口：「農業のみに従事した世帯員」及び「農業と兼業の双方に従事したが、農業の従事日数の方が多い世帯員」のことをいう（15才以上）。

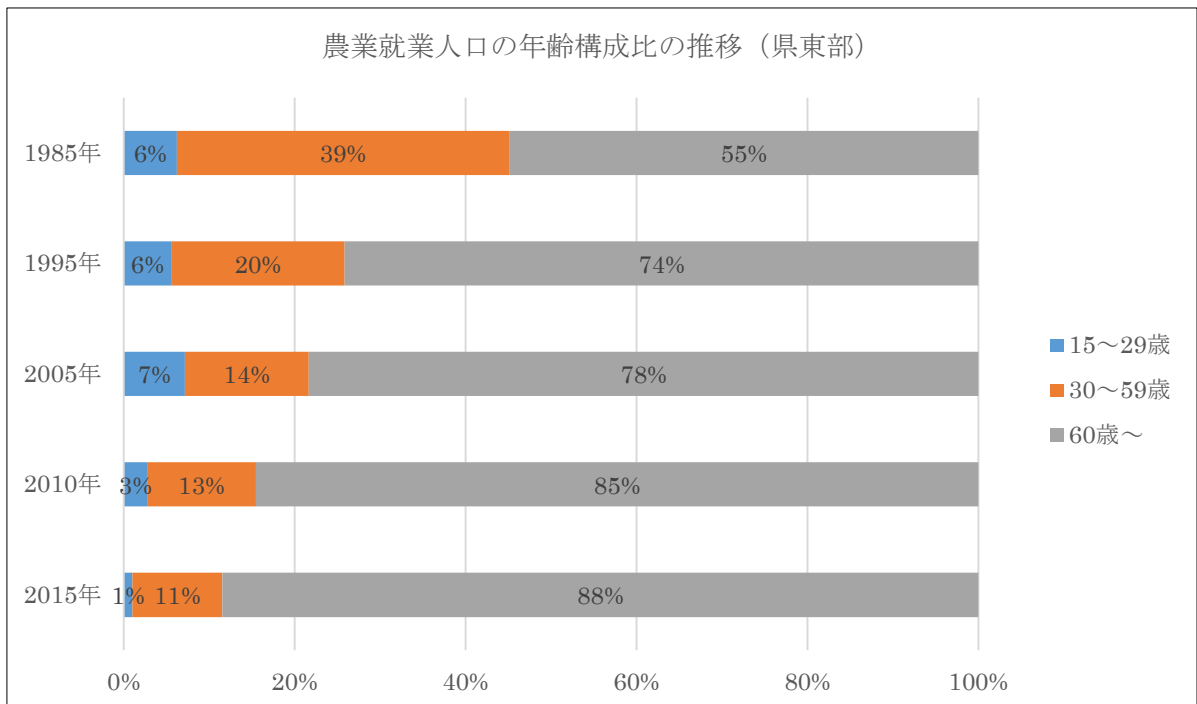
注2) 農業就業人口のうち、普段の主な状態が「仕事に従事していた者」のことをいう。

### 3 農業者年齢

農業就業人口の年齢構成は、1985（昭和 60）年では、15～59 歳が 39%を占めていたが、2015（平成 27）年では、15～59 歳が 11%、60 歳以上が 88%を占めている。



世界農林業センサス（農業センサス）、鳥取農林水産統計年報

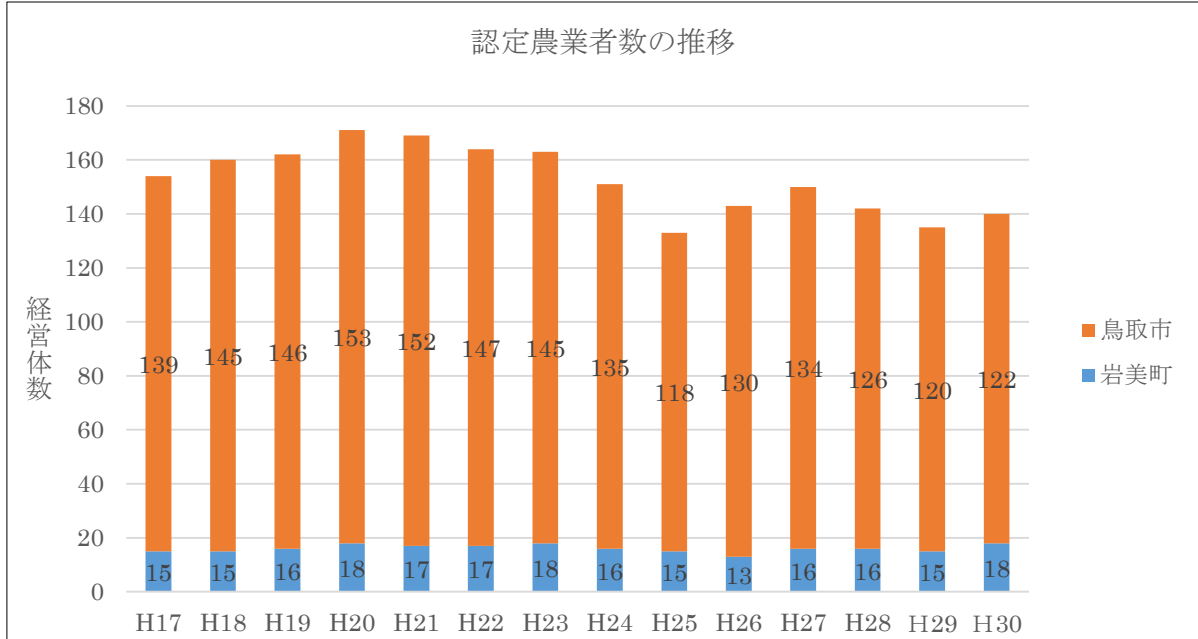


世界農林業センサス（農業センサス）、鳥取農林水産統計年報

#### 4 認定農業者数

県東部の認定農業者数は平成 20 年度の 171 経営体をピークに減少傾向にあり、平成 26 年度以降増加の兆しが見えた。再度減少したが、平成 30 年度は増加した。

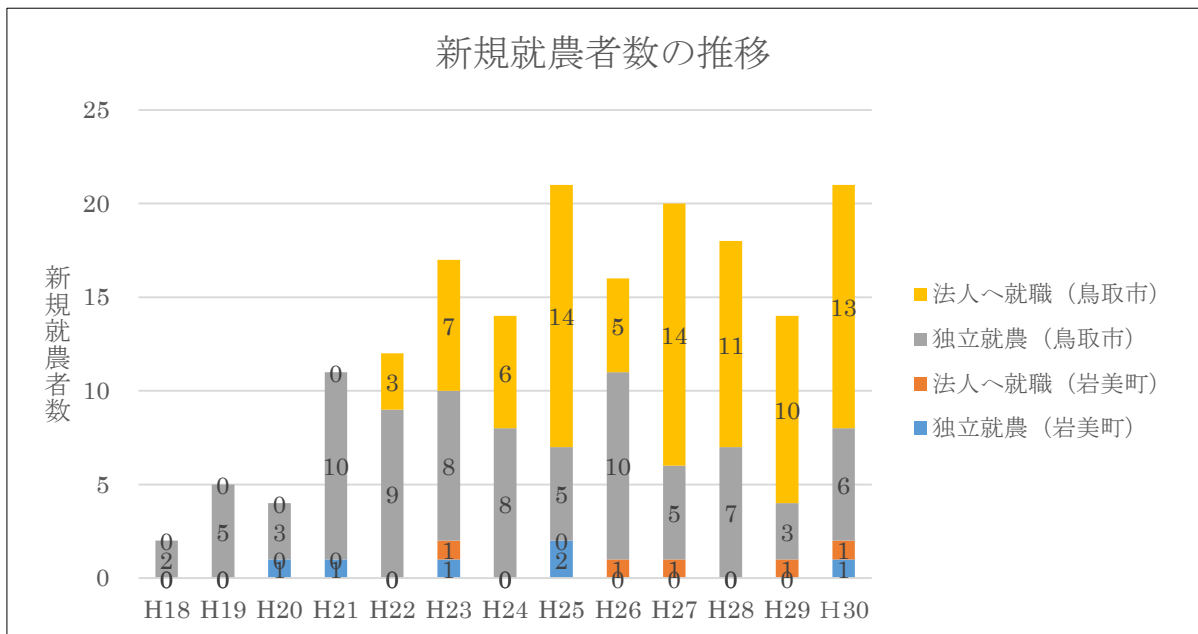
法人の認定農業者数は増加傾向が続いており、平成 17 年度の 18 経営体から平成 30 年度の 57 経営体へと 39 経営体増加した。



鳥取市、岩美町調べ(各年度末時点数値)

#### 5 新規就農者数

平成 21 年以降、全県的に農の雇用事業の活用等により、新規就農者が増加している。平成 30 年の新規就農者数は 21 名（うち、鳥取市が 19 名、岩美町が 2 名）となっている。そのうち、法人等への就職者は 14 名（うち、鳥取市が 13 名、岩美町が 1 名）、独立自営就農者は 7 名（鳥取市が 6 名、岩美町が 1 名）となっている。



\* 鳥取県経営支援課調べ（暦年集計）

\* 法人への就職者数は平成 21 年度以前の調査データなし

## 6 集落営農組織数

県東部の集落営農組織数は近年横ばい傾向にある。

平成30年集落営農組織数は86（うち、鳥取市72、岩美町14）で、法人数は23（うち、鳥取市19、岩美町4）となっている。

